

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	最近の各種災害を考え、関係者で話し合い ①年1回防災訓練を実施すること ②今回の大型台風による被災を考え、従来の災害用品の他に非常時電源確保を検討することが望まれる。	①災害(地震、水害)を想定し、年1回防災訓練を実施する。 ②災害時の停電を想定し、非常時電源確保の実現へ向けて努力する。	①現在実施している防火避難訓練との相違点等明確にし、実施目標を作成し実施する。 ②停電時の非常電源確保の必要性を具体的にし法人適所に相談し実現に努める。	6ヶ月
2	33	利用者の高齢化を視野に入れ、重度化した場合のホームの方針を早い時期に本人、家族に伝える、終末期の対応についての仕組み作りが望まれる。	利用者の重度化の際のホームの方針、終末期の方針、終末期の対応についての仕組みを作っていく。	医療職(医師、看護師)、ホームの職員、系列のグループホーム等からもしっかりと意見を聞きホームの状況にあった仕組みを作っていく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。